

# 「治水」と「環境」の両立を目指して！

## ～ 大分川・大野川河道管理環境検討委員会における環境配慮の取組 ～

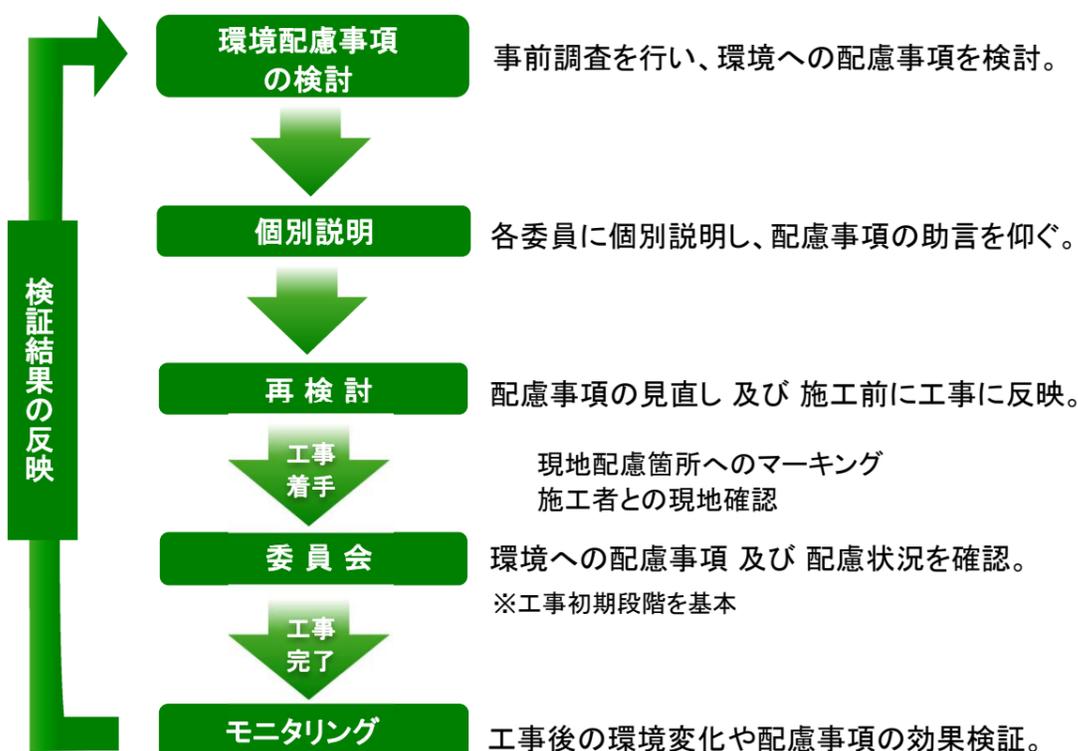
### 【 委員会の概要 】

大分川水系及び大野川水系の河道掘削や樹木伐採に関して、有識者からの環境面の助言を受けることにより、河川整備や維持管理のより一層の充実を図ることを目的に、平成20年に設立。毎年1回開催し、現在までに10回を開催しています。

### 【 委員会の構成（H29.10月時点） 】

- ・委員長：河川工学の有識者
- ・各委員：動植物や漁業関係の有識者(13名)  
河川水辺の国勢調査アドバイザー※、河川環境保全モニター、内水面漁業協同組合ほか
- ※魚類・植物・底生動物・両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類・昆虫類

### 【 委員会の内容 と 工事における環境配慮の進め方 】



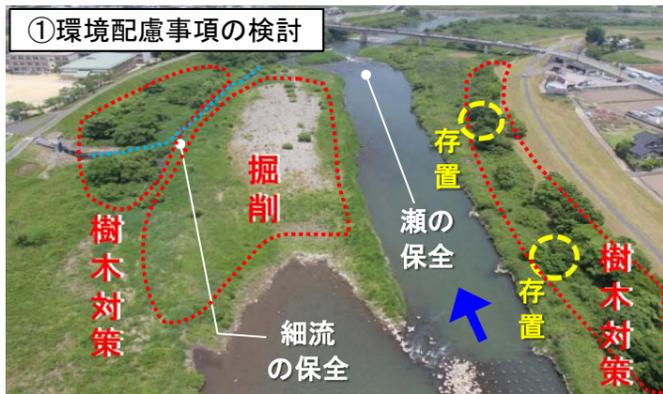
### 環境配慮事項の検討



### 委員会への個別説明



### ①環境配慮事項の検討



### ②環境配慮事項の施工現場への反映



### 【 河道掘削や樹木伐採といった工事における環境配慮の具体例 】

特に環境に配慮すべき場所で、河道掘削や樹木伐採といった工事を実施する場合は、有識者の助言により、環境への配慮事項を検討し、それを施工現場へ反映させて、工事を実施しています。

#### 施工前(H26.7)



#### 施工直後(H28.2)



#### 施工前(H28.6)



#### 施工直後(H29.2)



### 【 環境配慮の事例 】 ワンド(たまり)の保全

河道の中でも特異な環境の場となっている「ワンド(たまり)」について、有識者の意見を踏まえながら、洪水の流下に支障のない範囲で保全しています。



### 【 環境配慮の事例 】 礫河原の創出

河道内の樹木の伐採に伴い、有識者から助言のあった貴重な昆虫が存在する水際の礫河原について保全を行いました。樹木の伐採後に発生した洪水により、保全箇所の上流に新たな礫河原が創出され、河川らしい景観も形成されています。

